

# 目指す子供像の実現に向けて

## 小学生と中学生の交流

同じ地域に学ぶ小学生と中学生が、**学校の枠を越え、共に活動することのよさ**は、互いの絆きずなを深めるだけではありません。小学生にとっては、**先輩へのあこがれ**を抱き、自らの将来像をよりよく描く機会となります。中学生にとっては、**後輩との関わりを通して自らの成長を実感**することが期



待されます。そうした交流活動を小中学校の教育活動に効果的に位置付けることで、**小中学校9年間の学びの連続性**を大切にしながら、**児童・生徒の主体的に学ぶ態度**を育てていきます。



## 一貫した教育計画の整備



学びの方法やその手順になれることで、子供たちは安心して学校生活を送ることができます。現在の学年に限らず、学年の進級、中学校への進学においても、そうした**一貫した学びの中で**、新たな知識や技能、思考・判断・表現する力が積み重ねられることが期待されます。

大平ブロックでは、学校生活から学習にわたり、小中一貫した「**学び方**」について検討し、その指導に同一歩調で取り組んでいます。

各校の「**生活や学習のきまり**」は、そうした視点から見直されたものです。各教科等の指導計画についても、大平ブロックならではの「**ふるさと学習**」「**食育**」などの取組を共有し、各教科年間指導計画に位置付け実施しています。中学校の定期テスト期間に合わせ、小学校でも「**ホーム・ラン・デー**」として学習強調日を位置付けました。子供たちが自ら学習に取り組む習慣を、ご家庭とともに**はぐくんでまいります**。

## 教職員の小・中合同研修

大平ブロックでは、学習指導を始め児童生徒指導、小中交流の在り方などについて、**三校合同での研修機会**を定期的に設けています。

小学校・中学校の教職員がそれぞれの学校教育のよさや課題、共通点について話し合い、大平ブロック「**目指す子供像**」具現化に向けた理解を深め、日々の指導に生かせるよう努めています。

教職員が校種を越えて相互に理解を深めることは、本ブロックとしての特色ある教育活動をより効果的に実施することにつながります。

本ブロックで設定した重点目標の実現に向けて、特に、次のような研修を行っています。

- 目指す子供像について
- 児童・生徒の現状と課題について
- 学力向上に向けた取組について
- 小中相互の研究授業参観について
- 小中交流授業への取組について etc.

